

## 第 4 回審査委員会終わる！ 2 件に対し活動助成金交付を決定！

平成 20 年 6 月 20 日(土)旭市内で、「第 4 回旭 3 S 審査委員会」が開催されました。6 月 6 日締め第 4 次応募を受けての審査委員会でした。はじめに 20 年度新審査委員で審査の基準について共通理解を図り、上杉審査委員長の音頭で審査に入りました。

今年度も評価基準は、次の 4 点。社会貢献 自己形成 具体性 実現可能性。それぞれの観点における規準をどの程度満たしているかを他との比較(相対)ではなく絶対評価で個々の申請の中身を吟味しました。申請内容について審査委員会で意見交換した後、委員個々の審査結果は後日事務局がとりまとめ委員長に報告ということになりました。

その結果、今回助成対象となったプロジェクトは次の 2 件です。

### 1 旭市立干潟小学校 5 年生 60 名

#### 「きまりを守らなかつたら・・・(夏休み編)」

このプロジェクトは、夏休み前にどこの学校でも先生方から指導のある「休み中の生活」の注意事項について、生徒自らが自作劇として録画・編集し、旭市内の小学校 15 校に配布するというものです。

生活や健康に関するきまりが設定された背景や重要性、また、効果的な劇表現など子どもたちの視点で考えるとともに、パソコンを駆使した映像編集技術等も学びます。休み明けに自分たちの発表によって、「きまりを守ることに役立ったとする人が、全校児童の 90%を超えたらこのプロジェクトは成功した。」とゴールを設定しています。

助成額 105,000 円



#### 審査委員会からの意見

皆さんが、大切だと思ふことを仲間に伝えていこうとする気持ちがとてもすてきだと判断しました。難しいところがたくさんあると思いますが、みんなで力を合わせてがんばってください。

ルールを考えた人がどのような思いからルールを決めたのか、その点が多くの人たちにきちんと伝えられるように工夫してください。

申請された中には、すでにあるものを使えば予算をへらせるところもあるように思ふます。できるだけ節約して、もし予算が余ったら事務局にお返してください。そうすることで、他の人たちの活動の励みになります。

## 2 旭市立富浦小学校5年1組38名 「ふれあいボランティア」

このプロジェクトは、昨年度の6年生が取り組んだ内容を再構成し、今年度5年生で実施するものです。昨年の、経験や反省を生かし、昨年よりさらに地域のお年寄りとのふれあった交流をはかるといふものです。

地域の一人住まいのお年寄りの数や訪問時の家の場所・道順を調べ、どのようなふれあい交流が喜ばれるか等、計画から活動、そのまとめまで12時間にわたるプロジェクトです。今年は、昨年よりもっとお年寄りとのコミュニケーションが図れ、心がふれあえることに重点がおかれています。

調査の過程では校外へ飛び出し、地区の民生委員の方や駐在署の警察官等へインタビューをしたり、地域の方々のお世話になったりしながらプロジェクトを進行させていきます。

助成額 35,000円

### 審査委員会からの意見

すばらしいプロジェクトだということで、審査委員の意見が一致しました。昨年度に取り組んだ例を参考にして、よりいっそうすばらしい活動になるように努力してください。

お年寄りはどうすれば喜んでくれるかをしっかり考えることが大切です。時間のある限り、みんなでしっかり話し合ってから行動するとよいでしょう。

みなさんがふだん経験したり考えたりしていることを出し合って、お年寄りの気持ちに少しでも近づくように努力しましょう。



## 20年度新委員の紹介

旭3Sは、旭市内の子どもたちの豊かな学びを支援します。

是非ご活用ください。

詳しくは事務局へお問い合わせください。

### 1 運営委員

委員長 林 秋生(旭ライオンズクラブ)

副委員長 神崎 薫(旭ロータリークラブ)

〃 鏑木 秀幸(旭青年会議所)

委員 上杉 賢士(千葉大学)

〃 市川 洋子(千葉大学)

〃 山口 宗男(旭ライオンズクラブ)

〃 松浦 常男(旭ロータリークラブ)

〃 林 和義(旭青年会議所)

〃 渡邊 錦一(旭市PTA連絡協議会顧問)

### 2 審査委員

委員長 上杉 賢士(千葉大学)

副委員長 佐々木 守(旭ロータリークラブ)

委員 伊東 諒(旭ライオンズクラブ)

〃 角田 浩子(キャリアガイダンス誌編集長)

〃 川瀬 信一(千葉大学教育学部3年)

### お知らせ

次回、募集締め切りは10月初旬  
旭3Sホームページ9月開設予定